

わたしたちの北星余市展

この学校が、
出発点

人は、
一人じや
変われない

静岡県立大学 学生企画

北星学園余市高等学校 写真展「わたしたちの北星余市展」

グランシップ F6 展示ギャラリー2

2/25 Mon. 13:00-20:00

2/26 Thu. - 3/1 Fri. 10:00-20:00

3/2 Sat. - 3/3 Sun. 10:00-18:00

わたしたちの北星余市展

○北星学園余市高等学校とは？

不登校や非行など様々な背景を持った、年齢もバラバラの生徒が全国から集まっている北海道の私立高校です。

いま、少子化の影響などを受け、生徒数の減少による廃校の危機に直面しています。

○この展覧会について

北星余市を実際に訪れた静岡県立大学の学生が、生徒の多様性や個人が尊重されているこの場所を廃校の危機から守り、日本に残すため、その価値を多くの人に伝えるために、企画しています。

○会場

静岡県コンベンションアーツセンター
「グランシップ」6階 展示ギャラリー2

○日時

2/25(月) 13:00-20:00
2/26(火) - 3/1(金) 10:00-20:00
3/2(土) - 3/3(日) 10:00-18:00

○アクセス

電車の場合：JR東静岡駅南口から徒歩3分

お車の場合：新東名高速道路 新静岡I.C.から9km 約15分

静岡バイパス 千代田上土I.C.から4km 約10分

※ 駐車場をご利用いただけます。

○問い合わせ先

Email : hokuseiyoichi.ex@gmail.com (担当：静岡県立大学四年 鴻野)

主催：静岡県立大学学生有志「わたしたちの北星余市展」実行委員会

協力：北星学園余市高等学校、北星学園余市高等学校協力会

戸澤裕司様、山田淳子様

後援：余市町



〒422-8019 静岡市駿河区東静岡二丁目3番1号

Facebook : わたしたちの北星余市展 (静岡県立大学学生企画)

Twitter : @hokuseiyoichix

クラウドファンディングも実施しております！！

◆ご支援いただかなくとも、活動報告などをご覧ください。

詳しくはこちらから！ →



◆掲載サイト：CAMPFIRE (キャンプファイアー)

【写真展】わたしたちの北星余市展—北海道に輝き続ける、日本の宝もの—

○トークイベント

「本物の教育とは何か

—北星余市で起こっていること—

日時：2019年3月3日(日) 14:00～17:00

場所：グランシップ10階 1001-1会議室

登壇者：

小野善郎先生 (和歌山県精神保健福祉センター所長)



愛知県出身。精神科医。医学博士。1984年、和歌山県立医科大学卒業。同附属病院で研修後、国保日高総合病院神経精神科医員、和歌山県立医科大学精神神経医学教室助手。その後、和歌山県子ども・障害者相談センター総括専門員、宮城県子ども総合センター技術次長、宮城県精神保健福祉センター所長を歴任。2010年より和歌山県精神保健福祉センター所長、2012年より和歌山県子ども・女性・障害者相談センター子ども診療室長を併任し、現在に至る。専門は精神医学、児童精神医学。

主な著書に『思春期の育ちと高校教育』(福村出版)、『思春期の子どもと親の関係性』(福村出版)がある。



青砥恭先生 (NPO法人さいたまユースサポートネット代表理事)

鳥取県出身。元埼玉県立高校教諭。現在は明治大学で兼任講師(教育学、教育社会学、教育法学)。2011年以降、さいたまユースサポートネット代表。さいたま市内で子ども・若者支援を地域の行政や学生や市民の方々と一緒に進めている。

主な著書に『日の丸・君が代と子どもたち』(岩波書店)、『ドキュメント高校中退』(筑摩書店)、『若者の貧困・居場所・セカンドチャンス』(編著、太郎次郎社エディタス)、『ここまで進んだ！格差と貧困』(共著、新日本出版社)などがある。

その他、企画学生、北星余市の卒業生や教職員も登壇し、それぞれが感じる北星余市について、そこから垣間見える「本物の教育」について、語り合います。

**誰にとっても大切なこの場所を、日本に残し続けるために。
わたしたち一人一人のための、わたしたちの写真展。**